

二宮町総合戦略評価について（意見）

「二宮町総合戦略」に掲げる4つの基本目標について、各委員の経験や知見を活かし、町民としての視点、また第三者としての視点から、客観的及び具体的に、今後の「二宮町総合戦略」の推進に有効なものとなるよう、議論を進めてきました。

今回、4本の基本目標について、行政内部における進行管理の妥当性を評価したところ、3本の基本目標について内部評価との相違がありました。しかし、今後の取り組みをより一層、効果的・効率的なものとしていくための評価であるという観点では同じであることから、町は各委員から出された意見を参酌し、今後の地方創生の推進に役立てていただきたいと思えます。

数値目標及びK P Iの達成状況については、すでに実績値が目標値を上回っているものがあり、施策を推進した結果が数値に表れているものと考えますが、一方で、進捗に遅れが生じているものや町民満足度が基準値より低下している施策もありました。今後は、実績値の把握だけでなく、その増減の要因を分析し、活かすべき点あるいは改善すべき点を明確にした上で、さらなる向上を目指して取り組むことを期待します。

数値目標やK P Iの目標値については、昨年度の本委員会での意見を踏まえ、目標値が数値化されたことにより、進捗状況や達成度合いが把握しやすくなりました。一方で、一部、基本目標の達成状況を測る指標として、あるいは、基本目標の達成に向け講ずべき施策の効果を検証するものとして、適切とは言えないものがありました。妥当性に疑義があるものについては、その理由等を分析し、根拠を明確にした上で、見直すべきか否かを判断する必要があります。

併せて、この評価システムについて、多くの関係者が理解し、納得し、その後の取り組みに繋がる結果を導き出すため、評価の仕組み自体にP D C Aサイクルを取り入れ、継続的に見直しを図ることが必要です。

「二宮町総合戦略」は今年度で3年目を迎え、成果が問われる段階に入りました。一朝一夕に大きな成果が出るものではないものの、現状を鑑みると、取り組みの加速化は不可欠です。そのために、町は庁内組織の横の連携の強化とともに、積極的に地域の人と組織を巻き込み、地域力を最大限活用し、町一丸となって、取り組みを推進することが必要です。

最後に、この意見書が「二宮町人口ビジョン」の実現に寄与するとともに、町民の負託に応える町政の実現の一助となることを期待します。